

Point 045

135 In many ways, riding a motorcycle is quite different from ().

- ① to drive a car ② you drive a car
③ driving a car ④ when driving a car <東海大>

136 My mother complains of () too lazy.

- ① I am ② I being ③ me to be ④ my being <北海学園大>

137 I (am / been / part / this / of / having / proud of) team. <日本大>

□□□

138 I am ashamed () kind to the old woman on the train.

- ① not of having been ② of having been not
③ of having not been ④ of not having been <日本女子大>

Point 046

139 (a) It is useless to try to overtake them.

- (b) It is () use () to overtake them. <神戸松蔭女子学院大>

140 (a) It is no use discussing this matter with them.

- (b) There is () in discussing this matter with them.
① no point ② no problem ③ no difference ④ no more <駒澤大>

141 彼を待ってもむだなようだ。

- There (in / be / appears / sense / to / no) waiting for him. <近畿大>

135 多くの点で、バイクに乗ることは車を運転することとはまったく異なる。

136 私の母は、私があまりに怠惰だと文句を言う。

137 私はこのチームの一員だったことを誇りに思います。

138 電車内でその老婦人に親切にしなかったことを恥ずかしく思っている。

139 (a) (b) 彼らに追いつこうとするなんてむだなことだ。

140 (a) (b) この件について彼らと話し合ってもむだです。

Point 045 動名詞の基本用法

- 135 前置詞の目的語となる動名詞一名詞用法の不定詞との違い **基本**
 ▶動名詞は文中で、主語・目的語・補語・前置詞の目的語として用いられる。不定詞にも主語・目的語・補語となる名詞用法(▶106, 108)があるが、前置詞の目的語として用いることはできない。よって① to drive a car は不可。
- 136 動名詞の意味上の主語 **標準**
 ▶動名詞の意味上の主語は、代名詞の場合は所有格または目的格、名詞の場合も所有格またはそのままの形で表す。本問の場合、④ my being の他、me being の形も可能。
- 137 完了動名詞(having done)の用法 **標準**
 ▶完了動名詞(having done)は、文の述語動詞の時点よりも「前」であることを表す。この点は、完了不定詞(to have done)と同じ(▶118)。
 ▶本問の場合、「チームの一員だったことを誇りに思う」という文脈なので、前置詞 of の後に完了動名詞を用いる。
- 138 動名詞の否定語—動名詞の直前 **標準**
 ▶動名詞を否定する語は動名詞の直前に置く。
 ▶本問では完了動名詞を否定する形になるので、④ of not having been である。

Point 046 動名詞を用いた「…してもむだだ／意味がない」の表現

- 139 It is no use [good] doing **標準**
 ▶use 以外に good も使われることを押さえておこう。本問のように、It is useless to do との書きかえでよく問われる。
- 140 There is no point (in) doing **標準**
 ▶動名詞の直前の in は省略可能。
- 141 There is no sense (in) doing **標準**
 ▶appear to do 「…するように見える」を用いて、動詞 is の箇所には appears to be を入れる。

Point 047

142 I will go to my hometown next week. I'm looking forward
□□□ () my friends then.

- ① see ② seeing ③ to see ④ to seeing (清泉女子大)

143 I'm nervous. I'm not used () to a large audience.

- ① to speaking ② to speak
③ in speaking ④ of speaking (駒澤大)

144 主な理由は、彼らがクラス討論に参加することに慣れていないこと
□□□ だ。

The main reason is that (accustomed / participating / in / are /
to / they / not) a class discussion. (城西大)

145 My mother objected () the mountain alone.

- ① to my climbing ② on my climbing
③ for me to climb ④ me in climbing (南山大)

146 結婚するとなると、男は実際何を考えるものだろうか。

□□□ (comes / married / when / to / it / getting), what does a man
really think? (玉川大)

147 What do you say () tennis on Sunday?

- ① about play ② to play ③ for playing ④ to playing (埼玉医科大)

Point 048

148 I had some difficulty () one student from another.

- ① and telling ② in telling ③ to telling ④ on telling (桜美林大)

149 とても珍しいコートなので、それを見つけるのはわからないと思いま
□□□ す。

It is a very unusual coat, so I (don't / have / suppose / will /
finding / you / any / trouble) it. (立命館大)

142 私は来週帰郷するつもりです。そのときに友人たちに会うことを楽しみにしています。

143 私は緊張しています。たくさんの聴衆に話をするのに慣れていないのです。

144 私の母は、私がひとりでその山に登ることに反対した。

145 日曜日にテニスをするのはいかがですか。

146 私は、学生一人ひとりを見分けるのに少々苦労した。

Point 047 : to の後に動名詞(または名詞)をとる表現

to の後に動名詞(または名詞)をとる表現は頻出。以下の表現の to は不定詞を作る to ではないことに注意。この点は正誤指摘問題でもよく問われる。

- 142 **look forward to A / doing** 「Aを／…することを楽しみに待つ」 **標準**
- 143 **be used to A / doing** 「Aに／…することに慣れている」 **標準**
- 144 **be accustomed to A / doing** 「Aに／…することに慣れている」 **標準**
+プラス get used [accustomed] to A / doing にすると、「Aに／…することに慣れる」という動作的なニュアンスになる。
 ▶ participate in A 「Aに参加する」は必修のイディオム(⇒1039)。
- 145 **object to A / doing** 「Aに／…するのに反対する」 **標準**
 ▶ ① to my climbing の my は動名詞の意味上の主語(⇒136)。
- 146 **when it comes to A / doing** 「話が、Aに／…することになると」 **標準**
- 147 **What do you say to A / doing?** 「Aはいかがですか／…しませんか」 **標準**
+プラス 同意表現として How [What] about A / doing? を押さえる(⇒463)。

Point 048 : 省略可能な in の後に動名詞をとる表現

省略可能な in の後に動名詞をとる表現も頻出。問題 140, 141 の表現もそのひとつと考えてよい。

- 148 **have difficulty (in) doing** 「…するのが難しい」 **標準**
 ▶ 正答の② in telling の in は省略可能。
 ▶ tell A from B 「AをBと区別する／見分ける」はイディオムとして押さえる(⇒974)。
- 149 **have trouble (in) doing** 「…するのが難しい」 **英作 標準**
 ▶ in が省略された形を用いる。
!!注意 I suppose you will have no trouble ... とする形も可能だが、英語では否定表現を前に出す傾向が強く、本問のように I don't suppose you will have any trouble ... とする方が好まれる。

150 Mrs. Robinson was busy () her daughter cook in the kitchen.

- ① help ② to help ③ helping ④ for helping <玉川大>

Point 049

151 There is () what will happen to us tomorrow.

- ① no having told ② no telling
③ not telling ④ not to tell <センター試験>

152 (a) Needless to say, hunger is the best sauce.

- (b) It goes () saying that hunger is the best sauce. <徳島文理大>

153 ちょっと頭が痛いので、今日は外出したくないな。

- I have a slight headache, so I (going / feel / out / like / don't) today. <東京経大>

154 (a) As soon as I arrived at the station, I was able to find him.

- (b) () at the station, I was able to find him.
① In arriving ② On arriving
③ With arriving ④ Without arriving <高崎経大>

150 □ビンソン夫人は、台所で娘の料理を手伝うのに忙しかった。

151 明日、私たちに何が起きるかはわからない。

152 (a) 言うまでもなく、空腹は最上のソースである。

(b) 空腹が最上のソースであることは言うまでもない。

154 (a) (b) 駅に着くとすぐ、私は彼を見つけることができた。

- 150 **be busy (in) doing** 「…するのに忙しい」 標準
 ▶ help は, help A to do / help A do 「Aが…するのを助ける/手伝う」のいずれの形も可能(➡548)。本問では, help A do の原形不定詞を用いた形が使われている。

Point 049 :: 動名詞を用いた慣用表現

以下の表現はいずれも, 連立完成問題などの言いかえで問われることも多いので, **+プラス**の内容も正確に押さえておこう。

- 151 **There is no doing** 「…できない」 標準
+プラス It is impossible to do / No one can do / We cannot do との言いかえでもよく問われる。
- 152 **It goes without saying that** 節 「…は言うまでもない」 標準
 ▶ この表現は, 本問のように **needless to say** 「言うまでもなく」(➡134)を用いた言いかえでよく問われる。
- 153 **feel like doing** 「…したい気がする」 標準
+プラス 同意表現の **feel inclined to do** という不定詞を用いた形を押さえておくこと。
- 154 **on doing** 「…するとすぐに/…すると同時に」 標準
 ▶ よく似た表現に **in doing** があるが, こちらは「…しているあいだに/…するときに」の意味。
 ▶ 一般に **on doing** は **as soon as** で始まる節に, **in doing** は **while[when]** で始まる節に言い換えられる場合が多い。